

募集テーマ 困りごとや解決したい課題	多様な移動手段と賑わいを創出し、持続的な施設運営が可能なモビリティ・ハブの構築
めざす姿 どういう状態をめざしているか	バス停から自宅までのラストワンマイルを担うほか、路線バスの利用を促進する乗換拠点及び、賑わいの創出などにつながるパブリックスペースの両者機能を有するモビリティ・ハブを実現し、持続的な民間運営（収支採算性が図れるなど）の施設をめざす。
これまでの取組 何を実施してきたか	複数あるモビリティ・ハブの候補地周辺地区の基礎調査、将来像の検討、地域住民との意見交換。
民間事業者等のノウハウが活用できると考えている点	総括運営を見据えた収支採算につながるノウハウや、多様なアイデア、事業間連携など。
テーマに関する民間事業者等との取組の有無	行っていない
募集対象	解決等に向けて一緒に取り組む提案と実施者を探したい
希望する提案のイメージ	・シェアモビリティサービス ・イベント等企画（マルシェ、キッチンカー、企画物販など） ・モビリティ・ハブが賑わい、路線バスへの乗換拠点として定着し、持続的な民間運営施設につながる提案。
募集期間	2027年（令和9年）3月末日まで
実施希望時期	2027年（令和9年）3月末日まで
提案の選定方法（選定の有無）	■特に選定をしない（提案内容が妥当であれば採用数を絞り込まない） ☐ 審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞り込む） ☐ 提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 ☐ その他（下記のとおり）
藤沢市の提供できるリソース	・活用可能なモビリティ・ハブ事業用地（主に公共用地） ・事業概要等資料
予算措置の可能性	有
テーマに関する参考情報等	・藤沢市（第8回藤沢市交通政策推進会議 資料2） https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/documents/28428/no8-kotsuseisakusuisinkaigi-shiryo2.pdf ・日本交通計画協会（都市と交通 通巻134号） https://www.jtpa.or.jp/custom_contents/cms/linkfile/toshi_low_134.pdf
担当課	都市計画課